

2023年度惑星科学会 フロンティアセミナー参加報告

川村 陽¹



図1: 道の駅しんしのつ前での参加者集合写真。

本年度の惑星科学会フロンティアセミナーは、9月4日(月)から7日(木)にかけて北海道北海道石狩郡新篠津村にあります「しんしのつ温泉 たっぶの湯」で開催されました(図1)。筆者自身北海道は初めてであり、期待を膨らませてその地に足を踏み入れると、夏とは思えない涼しく心地が良い風と視線の遥か先まで埋め尽くす田畑が歓迎してくれました。宿泊先での食事は素晴らしく、朝食ではスープカレーや魚類などの北海道を彩る品をたくさん取り扱ったbuffetを、夜は海鮮や鍋、天ぷらなどの豪華な食事を楽しみました。また、天然温泉を満喫することもでき、参加された他大学の学生との浴場での会話は非常に楽しいものでした。毎夜行われました懇親会では普段お話しする機会がない先生方とお酒を嗜みな

からお話をさせていただく非常に貴重な時間となりました。参加された先生や学生の皆様には非常にフレンドリーに接して頂き、非常に楽しい4日間となりました、大変ありがとうございました。

ここからは2日間にかけて行われたセミナーの内容について簡単に紹介させていただきます。今回のセミナーでは講師として東京大学大学院総合文化研究科の小河正基先生を講師としてお招きし、「地球型惑星の内部ダイナミクス：次世代惑星科学への期待」というタイトルで講義をしていただきました(図2)。セミナーの具体的な章立ては以下の通りです；1. マントルダイナミクスの基礎、2. 地球型惑星の内部進化、3. 次世代への期待。第1章では過去のモデル研究の概観や惑星内部のダイナミクス(リソスフィアやプレートテクトニクスの起源など)について、第2章では月からスーパー地球における観測とモデル両方か

1. 東北大学大学院理学研究科
yo.kawamura.t3@dc.tohoku.ac.jp



図2: セミナーの様子. 写真奥が講演中の小河先生.

らわかる内部進化の特徴について、第3章では惑星形成や惑星表層・惑星内部の進化に対して内部ダイナミクスから与えられる示唆についてお話していただきました。惑星大気の初期進化に興味を持つ筆者としては、普段聞くことができない内部のダイナミクスについて理解を深めることができる貴重な講義でした。特に大気とのやり取りが活発なマグマオーシャンの固化過程についてのお話は、大気進化を記述する上で考慮すべき内部の振る舞いについて新しい視点を与えてくれました。詳しい内容については興味がある方は今後ホームページに掲載される予定の資料をご参照いただければと思います。

ご多忙の中、丸2日間にわたる講義を行っていた

だいた小河正基先生に改めて感謝申し上げます。また、本セミナーの企画・運営をしてくださったフロンティアセミナー実行委員会の皆様にも感謝いたします。そして、筆者の参加費を補助していただいた日本惑星科学会様にも感謝申し上げます。惑星科学フロンティアセミナーは、様々な分野についてその分野の第一人者の方に講義をしていただける貴重な機会でした。さらに非常に活気のある議論が展開され、参加者全員で理解を深めていく場所でした。また、分野を横断した参加者間の交流も貴重だと感じました。この参加報告書が来年度以降のフロンティアセミナーをより活気づけるものとなれば幸いです。

著者紹介

川村 陽



東北大学大学院理学研究科 修士1年.